

私たちが 池田 を守る

24時間365日、昼夜も問わず火災などの緊急時に出場する消防士。
皆さんは消防士がどのような活動をしているか知っていますか？
今号では、最前線で市民を守る消防士の活動に迫ります。

問合 予防課 ☎ 754・3511

池田市の 消防の現状

本市の消防組織は消防本部、消防署、細河分署で総勢130人の消防士や救急救命士などで構成されています。

現場に向かう消防業務は、主に火災、救急、救助に分かれていて、5年における火災は17件発生しました。「建物火災」が10件、「車両火災」が3件、「その他の火災」が4件です。出火原因の1位は2年から4年連続で「こんろ」が続いています。救急は7,211件発生しており、搬送人員は6,304人でした。「急病」が最も多く、4,897件となっており、その他に「一般負傷」「交通事故」などで出場しています。救助は125件で、「建物などによる事故」が最も多く、64件となっています。その他に「交通事故」「水難事故」「火災」などで出場しています。

消防職員の階級と人数

実員130人

階級	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
現在員	1	3	19	35	24	1	47

6年4月1日時点

5年中の 出場内訳

火災
17件

救急
7,211件

救助
125件



Firefighter Work

いち早く現場に着くために

指令から出場まで

1分
以内!!

急いで出場準備室へ

指令センターから消防署内に出場指令が流れると、急いで出場準備室に向かい、素早く防火衣やヘルメットなどを着装します。着装後に出場準備室でモニターに映し出された災害点を見ながら各隊長は現場へのルートを確認し、素早く活動方針を共有します。その後、各車両に乗り込み出場です。



01

防火衣を着装



02

車両へ乗り込み出場



04

現場へのルートを確認



03



消防本部 予防課
東 主幹

普段から徹底して消火や救助に必要な機器などを点検し、すでに車内に積んでいるため、乗り込んだらすぐに出場できます。この速さはまさに訓練のたまもの。日々、本番を想定しながら訓練を続けているからこそ、どんなときでもいち早く現場に駆け付けられるのです。



Firefighter Work

災害が起きて
いないときの

活動

について

現場の消防士は1日24時間勤務の交代制です。災害活動などがないときは一体何をしているのでしょうか？

訓練

多種多様な災害が発生するため、想定訓練は欠かせません。また体が暑さに慣れるためにあえて暑い時間に訓練を行います。休憩時間にトレーニングを行う隊員もたくさんいます。

煙道を想定し要救助者を救出



暑さに慣れるための訓練



休憩時間もトレーニング



点検・検査

車両や資器材の点検



消火栓の点検



勤務交代後はすぐに車両と資器材の点検を行います。消防車や救急車は私たちの大切な仲間であり日々の手入れは欠かせません。また消火栓は毎年点検、露店などへは現地検査を行い、市民の安全確保に努めています。

啓発活動

学校やマンションで消防訓練指導を行っています。毎年繰り返して消火・通報・避難訓練を行い、災害時に慌てず行動できるようにするものです。消防施設見学は子どもたちが消防車を見たり、防火の話を聞いたりするものです。防火意識の向上につながることを期待しています。

消火器の使い方の講習



消防署見学に来た子どもの対応





未来を担う若手隊員



INTERVIEW
消防署
第1警備課 警備担当
高山 聖矢
(5年10月採用)

01 消防士になったきっかけ

高校3年生のときに、「大阪府北部地震」の被害を間近で目にしたことから、人の安全や安心に直接関わることができる消防士になりたい気持ちが強まっていきました。また最前線に立ち、人を助けることができる場所にも魅力を感じ、消防士をめざしました。

02 成長するために頑張っていること

現在は救急隊の1人として救急車に乗ることが多いです。災害はいつ発生するか分からず、昼夜問わず出場することもあります。救急は1つとして同じ現場はなく、その場に応じた判断力が求められます。そのため、現場を想定し先読みした行動ができるよう、毎日が勉強の繰り返しです。どのような現場でも冷静に、傷病者にとつ

ての最善の選択ができるよう、一人前の救急隊員をめざして頑張っています。

03 これからめざす消防士像

私がめざす消防士は、消火・救急・救助など全てに対応できるハイブリッドな消防士です。消防学校では救助隊員をめざして着任しましたが、訓練や現場経験、先輩の皆さんと会話する中で、どの業務も全て大事でありチャレンジしたい気持ちが高まりました。ただし、簡単な道ではないことは理解しています。市民の皆さんを守るために、新たな知識や技術を身に付け、厳しい訓練に耐えて、誰からも頼られる優しい消防士に必ず成長します。



消防トピックス

01

5年から新しい仲間が増えました！

13m放水塔付き
消防自動車 7号車

バスケットを使用しての救出や放水が可能であり、水損防止にも優れている圧縮空気泡消火装置(CAFS)を装備し、積載する900ℓの水で有効な消火活動が行えます。多種多様な災害に対応可能な消防車です。

バスケットからの
放水が可能



片側吸管を採用し
資器材の
収納力向上

災害対応
特殊消防ポンプ自動車 3号車

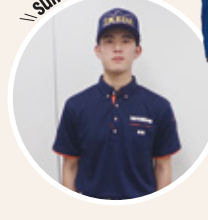
600ℓの水槽およびCAFSを搭載し、電動アシスト付きホースカーや動力昇降装置を装備しました。これにより、消防活動の省力化を図り、より安全かつ迅速な消防活動を行うことが可能です。また、大規模災害や特殊災害が発生した日本全国の被災地に、応援に駆け付ける緊急消防援助隊として登録した消防車です。

02

活動服が変わりました！

従来の半袖の活動服を廃止し、長袖に一本化しました。生地が二重となり、火災現場でのやけどなどのリスクを軽減するなど、安全管理を徹底します。また夏場の執務はポロシャツとし、ヒートストレスに対応します。

summer ver. //



03

仮眠スペースが充実しました

災害がなければ、夜間は仮眠時間もあります。隊員の増員や感染防止対策などの体調管理を踏まえて仮眠スペースを個室化し、24室設置しました。個別指令も可能とし、万全の状態で出場します。また使用しないときはマットレスを少し上げて、通気を良くし、カビなどの発生を防止するよう工夫しています。



に直撃しました！！

01 消防士になったきっかけ

誰かのために命をかけて業務を全うする姿をテレビで見て魅力を感じたからです。小さい頃から人のために行動することが好きだったこともあり、私も1人でも多くの人を助けたいとの思いから、消防士をめざしました。

02 成長するために頑張っていること

主に火災などで出場しますが、救急隊員として出場することも多いです。救急を求める方は子どもから高齢者までさまざまですが、私は誰に対しても接遇を変えないことを意識し、まず安心感を持っていただくことを常に心がけています。また空いた時間では、先輩や同



INTERVIEW

消防署
第1警備課 警備担当

吉川 初音
(5年10月採用)



期の皆さんに協力してもらい、血圧や体温の測定などを素早く行うことができるように訓練しています。

03 これからめざす消防士像

私は将来、救急救命士の資格を取り、傷病者に寄り添えるような救急隊員になりたいです。なぜなら、消防学校で訓練を受ける中で、資器材を使えない環境でも自分の知識と行動で人の命を助けることができると思ったからです。また、私が女性隊員だからこそ貢献できることも多いと感じます。例えば患者さんが女性の場合、男性隊員より抵抗感を和らげ、スムーズな処置ができるのではないかと思います。現場でたくさんの経験を積み、一人前の消防士になれるように鍛錬します。

北大阪消防指令センターが開設！

News

消防指令業務は、高度で迅速かつ的確な災害対応が求められるとともに、多種多様な災害が発生する中で、大規模災害時に広域的な対応が要求されます。また消防通信指令施設の整備などに係る費用の低減化などを実現するため、6年4月から池田市・豊中市（能勢町）・吹田市・箕面市（豊能町）・摂津市で消防指令業務の共同運用を開始しました。

共同運用を行うことで広域で連携が取れることや財政面での効率化が図れています。



SNSについて

フェイスブックは平成28年10月1日から、インスタグラムは令和5年2月25日から運用を開始しています。皆さんに消防を身近に感じてもらい、火災予防に必要な情報などをお届けしたいので、ぜひ登録をお願いします。



\ Facebook /



\ Instagram /

